

ウイルスの 違い



かぜのウイルスは 200 種類以上あると言われていま
す。かぜのほとんどはウイルス感染が原因 (90% 前
後) で起こります。(其の他のかぜの原因には、細菌、
クラミジア、マイコプラズマなどがあります)

夏かぜのウイルスと冬、秋・春かぜのウイルスの種類
が異なります



夏



エンテロウイルス
アデノウイルス



●夏かぜの代表的なウイルス

<エンテロウイルス>

エンテロウイルスのエンテロとは「腸」のことをいま
す。熱くて湿度が高いところを好むウイルスで腹痛や
下痢など胃腸障害を伴うものが多いのが特徴です。
多くは経口感染し、咽頭や腸管で繁殖し、発熱、気道
感染、消化器感染を起します。

<アデノウイルス>

アデノウイルスのアデノとは「のど」の
意味です。呼吸器と腸で繁殖し、のど
の痛み、発熱、激しい咳が特徴です。
プール熱 (結膜炎や高熱、のどの
痛み、下痢など)・急性灰白髄炎、
手足口病 (手、足の裏、口の中に小さな水ぶくれができ
る) などの疾患をもたらします。

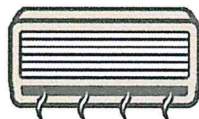


●夏かぜの予防

・クーラーによる冷え過ぎ、暑さによる体力消耗に
はご注意ください。(クーラーは適温に設定し、心
地よい環境にしましょう)



・手洗いを心がけましょう。



・寝不足のないよう休養を十分にとりましょう。
・水分の補給も大切です。



・軽い運動を心がけましょう。



・ビタミン不足のないように野菜を
豊富に摂りバランスのよい食事
をしましょう。



●治療方法

・下痢をしたら (下痢はウイルスを排出)
下痢が何日も続いたり、一日 10 回以上の水っぽい
下痢や便に血が混ざっている場合などは診療を受
けてください。(下痢止めを簡単に飲むとウイルスの
排出が遅くなります)
・熱が出たら (解熱剤をむやみに使用しない。目安とし
て大人は 38℃、子供は 38.5℃以上になってから)
頭や首の脇、脇の下、太もものつけねなど太い動脈
のところを冷やしたり、クーラーなどで快適な環境を
つくりましょう。

春



秋



ライノウイルス



年間を通じて見られますが春 (5~7月) と秋 (9~11
月) に多く、季節の変わり目の風邪といわれています。
鼻、のどなど、上気道の炎症を起こします。(ライノは
「鼻」の意味です) 主に咳からの飛まつ感染、鼻や目
などをこすったりの感染に気をつけましょう。

冬



RSウイルス
コロナウイルス



インフルエンザウイルス